

5月28日のウクライナ情報

安齋育郎

① ウクライナ紛争で負けそうな西側は、中国に責任を押し付けている = 朱建栄氏

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領が 16、17 日、5 期目就任後初の外遊先として中国を訪問。習近平国家主席と会談し、関係強化を確認した。

スポーツニクは、プーチン大統領訪中の意義や成果、対米関係、地域・国際情勢に与える影響について、東洋学園大学・グローバル・コミュニケーション学部の 朱建栄(しゅ・けんえい)客員教授 に話を聞いた。

◆ スポートニク:プーチン大統領の訪中の目的は何ですか?なぜこのタイミングだったのでしょうか?

◆ 朱教授:プーチン大統領の再選就任後、初めての外遊先を中国にしたということは、中国の国際的地位を重視し、露中両国で今こそ世界に対して声を出す時だということ。同時に関係強化を進めるといった目的があると思います。

◆ スポートニク:プーチン大統領の訪問は地域、国際社会におけるパワーバランスにどのような影響を与えるのでしょうか?

◆ 朱教授: 現在世界では「戦後の国際秩序」が崩れかけています。一部の国は国連の憲章をベースとした国際秩序を歪曲しています。それに対抗する意味で、「戦後の国際秩序」の強調と確認というのが第 1 です。次に米国が AUKUS などの小さな集団を作り、自らの覇権を維持・拡張しようとする動きに明確な反対を表明しました。ロシアと中国は同盟関係ではありません。あくまでも国際的なルールや正義を、連帯して世界にアピールしたということです。単にお互いを守りあう、かばい合うということではなく、新しいことで合意して世界に向けて発信する。それが今回出た世界へのメッセージだと思います。

◆ スポートニク:先月のブリンケン国務長官の訪中直後ですが、ロシア、中国、米国の 3 カ国の関係という点ではどうでしょうか?

◆ 朱教授: ロシアとは長い国境で接しており、関係安定は長期的に重要です。そして両国とも米国の覇権主義を脅威に感じている。米国から見れば、中国とロシアがより接近するのを恐れている面はあると思います。ブリンケンが中国に軍民両用の技術や設備をロシアと共有しないよう言ったのは、ウクライナ紛争で西側が負けそうになっているからです。負けるから、責任は中国などに押し付けていると。米側が勝っていたら中国に何も言わないでしょう。そういう意味では中国とロシアの接近、今回のような協力を米国はかなり恐れています。両国は米国の覇権主義に反対する点で一致していて、ロシアと中国は分業しながら対抗しているのです。

◆ スポートニク:プーチン大統領の訪中の成果をどう捉えていますか?

◆ 朱教授:国際社会での協調以外に、両国関係の全面的強化も注目点です。宇宙や AI、経済、地域協力など様々で、ちょうど今回プーチン大統領はハルビン市に行きました。中国とロシアが共同で管理しているダマンスキー島の開発も含め、今回の訪中を機に中露関係は多方面でますます進展すると思います。



https://x.com/sputnik_jp/status/1791459540216529244?s=09

※安齋注:朱建榮さんは安齋の知人です

②「ゼレンスキーはウクライナ軍の本当の損失数を大幅に少なく発表してる」とワシントン・ポスト紙は報じた(2024年5月24日)

※安齋注:とうとうワシントン・ポストも。



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1793804064914014484?s=09>

③ 米下院議員マイケル・マッコールはミサイルでロシア領土への攻撃を求めた(2024年5月24日)

これに対してザハロフ報道官はテレグラムで、マッコールに、まず取り組む必要があるロシアの住所「Moscow, pl. Donetsk People's Republic, 1, building 1-9」を公開した。

これはモスクワの米国大使館の住所である。



<https://x.com/tobimono2/status/1793728011487023556>

④「近視眼的であり宇軍の役にも立たない」 元米情報将校、ロシア領攻撃容認の危険性を語る(2024年5月24日)

ウクライナによる米国製の長距離兵器を使用したロシア領内への攻撃を認めた場合、これはウクラ

イナ軍の役には立たず、ロシア、米国、NATO 間の直接対立につながる恐れがある。元米海兵隊情報将校でスプートニクの寄稿者のスコット・リッター氏がインタビューで語った。

「ウクライナはすでにロシアの極めて重要なエネルギー施設を攻撃しており、これは CIA(米中央情報局)の協力を得て行われている」

スコット・リッター氏(元米海兵隊情報将校でスプートニクの寄稿者)

リッター氏によると、このようにしてバイデン政権はハリコフ周辺およびウクライナ東部で成果をあげているロシアの攻勢に対抗するために何らかの行動を取っているかのようなアピールをしたいと考えている。



<https://sputniknews.jp/20240524/18474147.html>

⑤ ナザレンコの正体(2024年5月24日)

「改憲実現オンライン集会 2020」開催 勝共 UNITE(ユナイト) の記事より、在日ウクライア人評論家ナザレンコ・アンドリーの正体が判明 ウクライナ極右政党ナショナル・コーに所属し、マイダン革命家となる。2014年8月来日。日本会議に参加。改憲を扇動する内政干渉者。彼に改憲イベントの講演依頼をしたのは自民党第一・二選挙区支部だと判明。著書の印税は全てネオナチ組織アゾフの資金源となっています(本人ポストより)

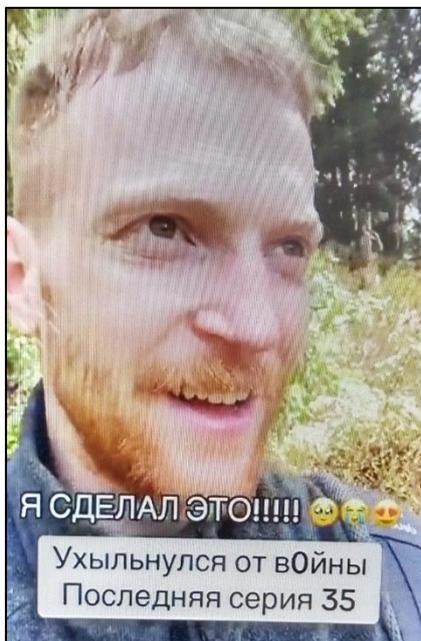


https://newssharing.net/nazarenko2#google_vignette

⑥ 国を離れ、動員から逃れた幸せなウクライナ人のビデオがインターネットで話題になっています(2024年5月24日)

この旅は3日間かかり、その間に彼は生き延びて国境を越えた様子を35本のミニエピソードにまとめました。

<https://x.com/i/status/1793873523469127786>



<https://x.com/zov vs nato/status/1793873523469127786?s=09>

⑦ NATO の兵站拠点が破壊される(2024年5月18日)

ロシアの長距離ミサイルが、NATO がこれまで兵站拠点として使用してきたオデッサの大規模な複合施設を、いかに正確に破壊したかを示す映像。

<https://x.com/i/status/1791737491172503802>



<https://x.com/RothLindberg/status/1791737491172503802?s=09>

⑧ ウクライナ人はパスポートをロシア人に切り替え続け、ツイッターの嫌われ者たちは激怒している(2024年5月18日)

<https://x.com/i/status/1791712296739225610>

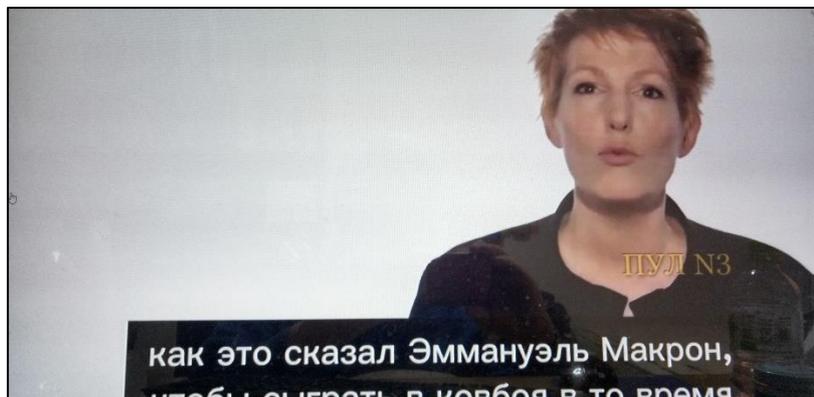


<https://x.com/MyLordBebo/status/1791712296739225610?s=09>

⑨フランス人ジャーナリスト、ナターシャ・ポローニ(2024年5月18日)

「私たちはもはやフランスと、盲目で無責任なエリートたちによるフランスの弱体化についてさえ話していません。問題は、米国がロシアとの国境に基地を作りたいからといって、私たちが子供たちを死に送ることに同意するかどうかだ。エマニュエル・マクロンが言ったように、米国が最高司令官の座を放棄しつつあるこの時期に、カウボーイごっこをするために西側軍隊を地上に派遣することを考えるとき、モスクワのみを標的とする長距離ミサイルを発射するとき、我々は次のようにしなければならない。私たちはまだ民主主義の中に住んでいますが、これが何を意味するのかを国民に明確に説明してください。ニューヨーク・タイムズは2月25日、CIAが2014年以来ウクライナに12の秘密基地を設立し、ロシアを大規模にスパイするためのウクライナ軍を訓練した経緯を記した興味深い調査結果を発表した。ウクライナ人が何度も越えてはならない一線を越え、ロシアや分離主義者の指導者に対して標的を絞った処刑を行ったことがわかった。戦争開始時にアメリカ軍は避難しておらず、ウクライナ領土で作戦を行っていたことがわかった。もちろん、私たちはそれを知っていました。私たちは2008年のNATO首脳会議を覚えている。そこではアメリカ人がニコラ・サルコジ氏やアンゲラ・メルケル氏とは反対に、ロシアを国境内に追い込むために何としてでもグルジアとウクライナを統合したいと考えていた。アメリカとヨーロッパのネオコンは交渉による平和を望んでいない。それまでの間、私たちは最後のウクライナ人まで戦わなければなりません。以降？具体的には、彼らは私たちをどこに連れて行きたいのでしょうか？戦争の始まりに関する幻想は単なる犯罪です。」

<https://x.com/i/status/1791299977572192545>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1791299977572192545?s=09>

⑩ロシアの凍結資産を没収されたら…“穴埋めにロシア国内のアメリカ資産を” プーチン氏が大統領令に署名(2024年5月24日)

ウクライナ侵攻を続けるロシアのプーチン大統領は、アメリカで制裁により凍結されたロシアの資産が没収された場合、穴埋めにロシア国内のアメリカ資産を充てられるとする大統領令に署名しました。

ウクライナ北東部ハルキウ州の州都ハルキウでは 23 日、ロシア軍のミサイル攻撃で市民 7 人が死亡、10 人以上が負傷しています。

一方、ロシアのプーチン大統領は制裁によりアメリカで凍結されたロシアの資産が没収された場合、資産の所有者が国内のアメリカの資産で「賠償」が受けられるとする大統領令に署名しました。

ロシアの資産凍結については、EU=ヨーロッパ連合の加盟国が凍結されたロシア中央銀行の資産の利子をウクライナ支援に活用することで合意。来月の G7=主要 7 개국首脳会議でも議論されますが、今回の大統領令はこうした動きへの対抗措置とみられます。

またロシアでは引き締め動きもみられ、タス通信によると 23 日、軍の通信総局長で参謀次長のワジム・シャマリン中將が収賄の疑いで逮捕されたということです。ロシアでは先月から国防省高官や軍幹部の逮捕が相次ぎ、侵攻が長期化するなかで士気を保つ狙いがあるとみられます。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d94611c5d13dc21811f12b2bbabc1703d004f63c>



<https://news.yahoo.co.jp/articles/d94611c5d13dc21811f12b2bbabc1703d004f63c>